

自民新総裁に福田氏

330票 197票 麻生氏を破る

自民党総裁選は二十三日午後、両院議員総会で党所属国会議員と各都道府県連代表者による投票と開票を行い、福田康夫元官房長官(71)が麻生太郎幹事長(67)を破り、第二十二代総裁に選出された。福田氏三百三十票、麻生氏百九十七票だった。二十五日に安倍晋三首相(53)の後継となる第九十一代首相に指名され、同日中に新内閣を発足させる。福田氏は福田起夫元首相の長男で、初の親子二代の首相となる。総裁任期は、退陣する安倍首相の残り任期の二〇〇九年九月までの二年間。

新総裁は、インド洋での海上自衛隊の給油活動継続問題への取り組みや年金記録不備問題の解決、また年金財源としての消費税率引き上げ、参院選惨敗の要因となった都市と地方の格差解消などとともに、党立て直しが課題となる。参院で与野党が逆転した「ねじれ

閣から支持を得る一方、地方でも着実に支持を広げ、共同通信の調べでは過半数の七十六票を確保、麻生氏の六十五票を抑えた。

国会」を乗り切る手腕も問われる。民主党は早期の衆院解散・総選挙を求めている。緊迫した攻防は必至だ。

自民党は臨時役員会、総務会を相次いで開き新執行部人事を福田新総裁に一任。福田氏は党三役人事を決定、二十四日午



自民党の新総裁に選出され、立ち上がる福田康夫氏 = 23日午後3時9分、東京・永田町の党本部

福田康夫氏の略歴

福田 康夫氏(ふくだ やすお) 早大政治経済学部卒。丸善石油(現コスモ石油)社員、衆院議員秘書、首相秘書官などを経て90年に衆院議員に初当選。外務政務次官、党外交部会長、党副幹事長、党経理局長、党政調副会長、官房長官、党総務などを歴任。05年から党住宅土地調査会長。71歳。東京都出身。衆院群馬4区。当選6回。町村派。

後に公明党の太田昭宏代表らと連立政権協議を行い、連立継続と基本政策について合意する。

福田氏は総裁選で、基礎年金の国庫負担割合引き上げなどの財源を確保するための消費税率引き上げ検討に前向きな姿勢を表明。給油活動継続をめくつては、十一月一日で期限が切れるテロ対策特別措置法に代わる新法案を今国会に提出する考えを示した。